

KUMENANCHŌ

久米南町

第81号

発行日/令和5年5月15日

議会だより



「たくさんの 笑顔と元気 久米南町」



第3分団第1部（上初、中初）小型ポンプ車操法

第47回 久米南町消防操法訓練大会

第47回久米南町消防操法訓練大会が3月12日（日）、町民運動公園多目的広場で開催され、ポンプ車操法の部で第1分団第1部（下弓削・西山寺）、小型ポンプ車操法の部で第1分団第4部（下二ヶ・上二ヶ・仏教寺）が優勝に輝きました。この日は、ポンプ車操法の部に3チーム、小型ポンプ操法の部に10チームが出場。団員たちは日頃の訓練の成果を存分に発揮し、気迫に満ちた操法を披露しました。

目次

豊かで住み良いまちづくり
3月定例会の一般質問 … P2~7

岡山県町村議会議長会ほか P8

【発行者】 岡山県久米南町議会
議会広報編集委員会

〒709-3614 久米郡久米南町下弓削502-1

☎(086) 728-2112 (直通)

e-mail: gikaijimukyoku@town.kumenan.lg.jp

〈3月定例会〉

一般質問

質問内容及び答弁は議員自らが作成、議員の責任で掲載しています。

公共施設等の状況について



南 直樹 議員

問 運動公園のプールについて
令和2年3月議会において、運動公園プールについて今後の方針と跡地利用について質問した。答弁は、現在利用できない状態であること、現在計画は無いが、今後検討が必要とのことだった。現時点での検討状況について聞く。

答 教育課長 運動公園プールは利用できない状況が長期となっているが、他の公共施設を含め、緊急性や費用対効果などを

考慮し、総合的な判断により、今しばらく現状のままとなる見込み。今後も継続的に協議検討を行い、より効果的な方向性を示せるよう調査研究していく。

問 消防団訓練場所の整備について
令和2年3月議会において、消防団の水出し操法の練習場所の整備について質問した。その時点では、具体的な案は無く、今後関係機関との協議

により検討していきたい、とお聞きした。現在の検討状況について聞く。
答 総務企画課長 練習場所については、ある程度の広さ、水利の確保と放水が伴い、そのような条件を備えた場所としていくつかを選定し、現在検討しているところ。
問 他の自治体での対応について聞く。

答 総務企画課長 県北の自治体では1箇所、訓練場所を整備されている。その他の自治体では、既存の町有施設、集会所の一部を使用していると同っている。また、各自治体においても消防団からの要望があるとお聞きしている。



町操法大会

問 来年の県大会ポンプ車の部に出場することが決まっていると伺っている。水出し操法の練習には、

住民との対話を大切に、誠意ある町政を！



近藤 賢司 議員

問 小学校の再編について、説明会の後に質問や意見が出されたが、地域と共にある学校であるからこそ、「11月の教育審議会の前に、地域に向向いて丁寧な説明が必要だったのではないか」というようなご批

判の意見が主であった。学校統合については、賛否両論ある中で、しかも場合によっては地域を二分してしまうデリケートな問題であるだけに、町長の姿勢として、11月時点で地域に向向き、丁寧な説明会を行う必要があったのではないか。この点についてどうか。
答 教育課長 11月時点では、まだ町の再編方針案だったので、それ以前

の時点で地域に出向いて説明することも、検討の材料にはあったが、まずは議員の皆さんに説明をし、そして保護者の皆さんへと、説明をさせていただいた。決まっていない状況のもとで、地域に出て説明し、それが決定になってもいけないので、なかなか難しい面もあり、1月30日に地域の皆様への説明会をするという判



神目小学校

問 断をさせていただいた。地域あつての町である。政治には対話がつきものであり、住民の皆様のご意見をしっかりと聞き、反映していくべき。その取り組みが、地域住民の方々に対する誠意ある姿勢というふうに映り、政治への信頼も段々と増してくるもの。その点について、私は町長の気持ち、姿勢を伺っている。

答 町長 幾らかの地域の方々から教育委員会に対して色々な要望があったと聞いている。そこを教育委員会としては加味しながら、物事を進めていったということだと思っている。その地域の皆様のご意見もあるし、また他の地域の方々

のご意見もある。その集約が、時間的に難しかったこともあると思う。まずは教育環境の充実、これが第一ということを進めてきた。皆様方のご理解が得られなかったというのは、説明不足だったかなというふうには思うが、ご理解いただきたい。

問 コロナ禍のなか、というところで、十分な検

討、ご意見を伺う機会の設定等が難しかったことも理解はできるが、賛成の地域、反対の地域もある。また、両方の意見が同じ地域から出ることもある。まずはその声を聞く、そういった姿勢が行政には求められているのではないか。今後の色々な施策等を実施される場合の貴重な教訓として進めていただきたい。

教育環境と人口減少について問う



小坂 守 議員

問 教育環境について 少子化は全国的な課題であり、本町も3小学校の統合、新校舎の建設の方針が示されている。審議会の答申が示された時、速やかな対応ができるのか伺いたい。

答 教育課長 新小学校の建設場所や学習環

境は、単独校、小中一貫校、義務教育学校の3種類の学校形態の中から、将来を見越して、当町に適した、又目指していく学習環境を選択するために教育審議会に審議をお願いしている。答申ができれば速やかに開校に向けて準備を進めていく。

問 幼、小、中、一貫りが求められている。行政の枠組みを外した「子ども課」の創設を考えているのか。

答 教育課長 国の動き、県や市町村の動向も探りながら、当町に適した組織の枠組みを研究していく。

問 保育園の統合について。

答 保健福祉課長 園児数は令和5年度、3保育園で99名になる。令和5年度の保育園の運営については、3園での運営に向けて、保育士の確保に努力した結果、3園での運営、一時保育の再開ができる見込みだ。保育園の統合については、今後学校教育審議会の答申を踏まえ、保護者の意見を伺って、検討していく。

問 3保育園の運営についても、保護者の方、地域の方に現状をしっかりと説明すべきである。保育園の形態も色々あり、保護者の方が安心して子育てができる環境づくりが重要で、そのためには、行政として、保育園の未来図を示すべきだ。



神目保育園

なっている。未婚率解消の取り組みは、おかやま出会い結婚サポートセンターとの共催により、親支援向けのセミナー、婚活支援セミナー、婚活イベントとして、カップリングパーティー、その他異業種交流会を開催している。広域的な組織での取り組みと併せて、町内での効果的な出合いの場の創出等引き続き検討していく。

問 定住移住の取り組みについて

移住相談の件数、内容について聞く。

答

産業振興課長 相談件数は61件で移住に至った方は約1割。相談内容も様々で、すぐに移住を考えている方、数年先の移住や漠然とした田舎暮らしを検討する方、又過去の相談者が数年後に移住に繋がるケースもある。

問 人口減少について

本町においても人口減少対策として色々な施策を実施している。子供の出生数は20人前後で推移しているが、本町の未婚率は他の市町村に比べ高く、婚姻率のアップが課題だ。婚姻件数の推移、未婚率の解消の取り組みを伺いたい。

答

総務住民課長 婚姻届出数は平成30年12件、令和元年18件、2年6件、3年8件、4年7件と



久米南バーガー

久米南学は、中学生のアイデアあふれる中にも地域課題を中心に、幅広い支援策を問う

問 先般開催された久米南学にて、中学生のアイデアあふれる中にも地域課題を中心に、幅広い支援策を問う



立石 祐一 議員

久米南学の推進と姉妹協定都市との今後の関係性について問う

久米南学の取り組みと支援策を問う

問

先般開催された久米南学にて、中学生のアイデアあふれる中にも地域課題を中心に、幅広い支援策を問う

答

表があった。町として、子どもたちに、より実践的な社会性やSDGs、協働について経験し、学ぶことができるような補助事業等の検討について伺いたい。

教育課長 中学校では、地域学、久米南学に取り組み2年目を迎え、全国的な取り組みであるSDGsの考えのもと、学校全体で「持続可能な久米南町をつくる」という大テーマを掲げ、各学年、系統的に取り組む仕組みをつくり、学びを実践している。令和4年度は町の課題解決に向けた生徒の提案が、商品開発という形で実現し、こうした活動が活性化の一助になる動きとなり、生徒の達成感や自己肯定感、学習意欲の向上にも繋がったもの

問

姉妹協定都市との今後の関係性について、本町HPよりバロッサ市HPリンクにアクセスし、「KUMENAN」を入力しても、全く情報が出てこない。本町として、姉妹協定都市とは何をもって姉妹協定都市なのか。また第6次振興計画において、持続可能なまちづくりや、SDGsを計画に挙げているが、教育においてもグローバル化やダイバーシティ(多様性)や価値観の共有がクローズアップされるなかで、アフターコロナに向けてオンライン等での国際交流事業等について実施する予定があるか。

答

総務企画課長 本町の姉妹都市縁組についてはブドウ栽培が盛んなバロッサ市を選定し、人材

育成事業を通じて平成14年に国際姉妹都市縁組を締結。同市との交流は平成20年までに9回、延べ130人を本町より派遣し、バロッサ市にあるフェリス校の生徒が、平成23年までに6回、延べ133名の方が来町し、ホームステイも実施。東日本大震災以後は交流事業を控えているという現状だ。

答

教育課長 令和2年度に、弓削小学校6年生10名の児童が、ジャマイカやイタリアの方と、Zoomなど、オンラインツールを使用した文化交流を行った。毎年度実施している「小中学校外国語指導支援事業」により、ALT1名が当町に派遣されており、小中学校の英語授業の助手を担っていた。そのALTの知人との交流等も実施し、英会話を通じて異文化に触れ、児童にとっ

学習の機会を設けたいと考えている。当町では様々な人々との出会いや交流を通して、子どもたちが将来に夢を持ち、未来に期待をいだくことができるように取り組みを進めているが、地域の方だけでなく、外国人

町政の諸課題について問う



河原 重義 議員

も含めた、多様な価値観を持つ人々との交流を意識していくことが、今後さらに求められていると思っており、学校教育の中でも充実させてまいりたいと考えている。

答

うに修正しているか。
教育課長 年度ごとにコースの見直しを行っている。今後にも必要に応じて随時見直す。

問

効率よく運行するようにしてもらいたい。

答

教育課長 保護者、地域の方からの要望も聞き、乗降場所も検討する。

今後の保育園の運営について

問

小学校統合を控え、保育園の今後について心配している保護者も多いと聞いている。

答

保健福祉課長 保育を必要とする子供の保育を行い、健全な身の発達を図ることを目的とする施設として、運営していく。

問

安心して子供を預けられる保育園でなければならぬ。3つの保育園の園児

少子化対策の施策

問

学校教育に係る教育費に対して、援助する施策が必要ではないか。本町の教育学習費はいくらか。

答

教育課長 小学校では、約9万円、PTA会費・給食費に年間約5万円。中学校は、教材購入費年間約2万円、入学時に約14万円、積立金等に年間11万円の費用が必要となっている。

答

教育課長 平成27年度より給食費の助成を行っている。保護者を取り巻く環境が厳しい状況であることから、今後保護者の学習費等の軽減に対する支援に、多角的な視点で調査研究をしていきたい。

問

子育てに多額のお金を要する事で、子供を産み育てることに躊躇する保護者もいる。具体的には、給食費の助成を増やすことはできないか。

問

調査研究で終わらないようにしてもらいたい。スクールバスを利用する児童生徒が多いが、運行ルートを利用しやすいよ

うに修正しているか。



ヘルメットを着用し安全運転を

答 総務企画課長 事故に遭わない、加害者にならないよう、交通ルールを十分理解して安全運転に努めていただきたいと考えている。ヘルメット購入の助成については、自動二輪車等への支援を行っていないことから、公平性が損なわれることのないよう検討したい。

問 空き家調査実施後の対策
現在、住む事が可能な物件、危険な状態の物件についての把握状況を聞く。

答 産業振興課長 前回の調査では、空き家戸数は295戸、居住可能と思われるものは176戸。今回の調査では、老朽度判定も行うこととしている。現況の精査を行い、十分な対策が必要。

問 十分な対策が必要。
また、貸し渋りになっている物件所有者へ、町からの勧奨策もあってよいのではないか。町有地の積極的な活用も大切だ。

答 総務企画課長 公売や公募などの形で新たな所有者を募ったりして

有効活用をするよう進めている。

問 今後、学校統廃合の結果、学校跡地の活用も大切になる。活用については、地域住民と話をす

森林環境譲与税の活用を

政廣 幹夫 議員



問 町民から活性化策を集めて、森林環境譲与税の有効活用をあげた。

笠岡市長が、森林環境譲与税の取り組みを広げる、使途を拡大する方針を出したと、新聞記事になっていた。町の森林環境譲与税は、質問通告に3年間の積立金が782万円と書いたが、この議会の令和4年度補正予算、5年度当初予算の内容を見ると、入るお金の同額が積立金になっている。合計すると令和5年度末の積立金額見込みは230

0万円となる。この森林環境譲与税の問題は、あれをやれ、これやれと言われて、「財源がない」と、職員の皆さんが困られることとは逆に、先に財源ありきで、これをどう使うか、これが問題だ。そこで私は、町民関係者の皆さんからしっかり意見を集め、有効活用してもらいたいという立場で質問を行っている。まず、森林環境譲与税の方針について、国がどういう考え方に立っているか説明を。

答 産業振興課長 森林環境譲与税は、間伐等の森林整備に関する施策、それから人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や



町内の山林

ば、松茸の復活を夢見てグループでいろいろと努力研究されてきた方からも話を聞いた。自分らの意見とか知見は持っていては、自力だけではなかなかできない。お金がかかる活動や、場所によっては住宅地に日陰を与えて困っている山もあるわけだ。そのようなことを、地域に暮らしている皆さんから、具体的な意見を集めて、どういう使い方が可能か、国の制約があるなかでも、こういう事はやれるんじゃないかと、しっかり考えてもらいたい。その前提として、まず、広く知恵を集めてもらいたい。いますぐ笠岡市のように使途を拡大する方針を出せというのではない。まず、どういう使い方をするかを考えるために、町民皆さんの意見を聞いてほしい。特定の地域へのアンケートも良いが、これが良いという具

問 本町で森林環境譲与税の使途がなかなか見つかからないのは、周辺を見渡すと分かるように、ほとんどそういう価値がないと言えれば叱られるが、山に値打ちがないからだ。しかし、かつて松茸で非常ににぎわった。いろいろな国の縛りもあるだろうが、例え

普及啓発などの森林整備の促進に関する施策に充てる事が目的とされている。本町においても、この目的に沿ったものにと考えている。

体的な意見を公募してもらいたい。夢があることを考えてもらうのは良いことではないか。広く意見を集めることに、是非取り組んでもらいたい。

答 産業振興課長 実際、町民の方から色々な

庁舎等複合施設ほか

光元 一郎 議員



議場について

問 議場は議会以外では使えないのか。先般、議員全員で西粟倉村を視察したが、多目的に利用されていた。一例だが和太鼓の練習場にもなっていた。議場の年間利用日数は定例会、臨時会を入れても20日もない。議会の権威もあろうが、多くの町民が利用できる議場としてほしい。

答 総務企画課長 災害時の防災拠点やいろ

ご意見をいただいている。森林教育の話であったり、松茸林の話もいただいている。そういったものも参考にしながら検討させていた

問 ぜひ、しっかりやってほしい。

いろいろな附属機関の審議会等の多目的利用を考える。

カウンターについて

問 事務所のカウンターはどのようになるのか。

現在、高いところと低いところがあり、高いところは書類の提出とか簡単な話ができ、長くなれば座って対応ができるようになってい

答 総務企画課長 教育課と議会事務局を除

いて一階に集中させており、来庁者が各課へ移動するのはなく、職員が移動して対応するよう考えている。高さは一律の高さとし、座っ



現在設置されているATM

て相談なり申請等していた

ATMについて

問 現在JAがATMを利用しているが、新庁舎においてどのように位置づけられているのか。また金融機関との交渉はしている

のか。建物の中には施設の問題もあり難しいと思うが、せめて外部にスペースを設けるべきではないか。

答 総務企画課長 床面積や施設の問題で屋内への設置は考えていない。

金融機関からの要望もあり協議を進めていく。

中学校の部活について

問 中学校の部活について外部に移行するよう

になっていない。どうなっているのか。他の自治会長とも話をし、現場も見せてもらったが、改良が必要と私が思ったところが何か所もあった。対応を要望する。

答 建設水道課長 緊急性や利用頻度等で優先順位を定め対応している。過去9年間の決算額からも縮小はしていない。

消防施設について

問 水出し操法の施設については、南議員への回答で前向きに検討されているように理解した。消防車両の更新については、今年度1台更新の予算が上がっているが、残った一番古い車両は登録から何年経過しているのか問う。2年に1台の考え方を改め、何年経過したら更新すると改めたらどうか。

答 総務企画課長 2年に1台の更新予定だが、日本消防協会等からの寄贈もあり、更新計画が早まっている。次の更新計画となる7年度では29年経過する車両がある。

「がまん」 姉だから たくさんゆずる 妹に 山本 陽愛

岡山県町村議会議長会 第74回定期総会

2月22日(水)、岡山県市町村振興センターにおいて、岡山県町村議会議長会第74回定期総会が開催されました。

自治功労者等の報告が行われ、当町議会からは、政廣副議長が岡山県町村議会議長会表彰を受賞されました。次に、会務報告、決算

認定及び事業計画案、予算案、決議など2認定3議案が協議され、すべて可決されました。

また、岡山県後期高齢者医療広域連合議会議員候補者として杉本議長が推薦され、3月7日に当選されました。



政廣副議長が受賞

タブレット端末を導入しました



3月定例会からタブレット端末を活用しての議会運営がスタートしました。

議会の政策提言能力の向上、チェック機能の充実、町民への情報提供の向上、環境負荷の軽減などの効果が期待されます。

今後は、更なる活用方法を検討し、議会活動の活性化と効率化、町民に信頼される議会を議員一丸となって目指していきます。

編集後記

桜の開花が年々早く訪れ、春の陽気とお花見を楽しめる良い気候とともに、花粉症や黄砂にpm2.5等のアレルギー症状に悩まされている方も多いのではないかと思います。私も今年から目の痒み等のアレルギー症状に苦慮しているところです。さて、令和5年3月定

例会も閉会し、議会だよりがお手元に届く時期になりました。5月にはコロナも5類に移行し、アフターコロナ・ウィズコロナで久米南町内もイベントや行事がコロナ前に戻りつつありますが、議会広報編集委員会も前年度以上に議会の活気ある情報発信に努めてまいります。

(立石祐一)



神目地区の桜

議会広報編集委員会

- | | | | |
|------|-----|------|------|
| 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 河原重義 | 小坂守 | 近藤賢司 | 立石祐一 |

